

1. はじめに

- 北九州市内一の大規模校（生徒数901名）
- 帰国外国人センター校
- 学研都市（校区に大学があり、外国の方が多い）
- 英語教育Leading Schoolの指定（校区光貞小学校も同様）
北九州市の英語教育を牽引するリーダー校の役割

令和2年度 国立教育政策研究所 教育課程研究指定校事業（一年次）研究報告

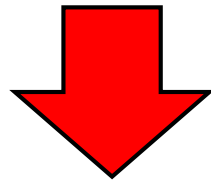
多様なグローバル社会の中でコミュニケーションを図り、
自分の考えや気持ちなどを即興的に英語で表現できる生徒の育成

～outputにつながる効果的なinputの指導を通して～

北九州市立浅川中学校

＜研究の仮説＞

- ・ 内容の伝え合いのための支持的風土づくり
- ・ 効果的なインプットのための帯活動や中間指導
- ・ 既習の言語材料を用いてアウトプットする場面の設定



自分の考えや気持ちなどを即興的に英語で表現できる生徒

2. 研究の手だて

①アウトプットのための効果的なインプット

②帯活動の充実（PD、チャット、個人スピーチ）

③適切な目的・場面・状況の中でのタスクの設定

④中間指導時のパラフレーズとやり取りの価値付け

⑤アウトプットのための場の設定

①アウトプットのための効果的なインプット

○コミュニケーションの手段のための英語使用
(教師・生徒ともに)

どのようなことが
表現できるのか

○相づち
(聞き手を育てるために相づちをうたせる)

どのような場面で
使われるのか

○問い返し
(T-S、S-Sの発話の中で問い返しを行い、内容を確認させる)

○関連質問
(質問をし、内容面に焦点を当てやり取りを深めさせる)

研究の手だて

①アウトプットのための効果的なインプット

②帯活動の充実（PD、チャット、個人スピーチ）

③適切な目的・場面・状況の中でのタスクの設定

④中間指導時のパラフレーズとやり取りの価値付け

⑤アウトプットのための場の設定

②帯活動の事例<ピクチャーディスクリビング>

(1) 教師とALTのやり取りを見せる

(2) 生徒とやり取りを行い、見通しをもたせる

※意見・問い返しなどのやり取りを段階的に増やす

(3) 全体を見取り、よいやり取りを全体で共有する

※写真の描写にとどまらず、お互いの考えを交流する



1往復のやり取り

A:What's this?
B:It's a computer.
A:Yes.

自分の意見を加える

A:Yes. I have
a computer.
How about you?

問い返しや意見を加える

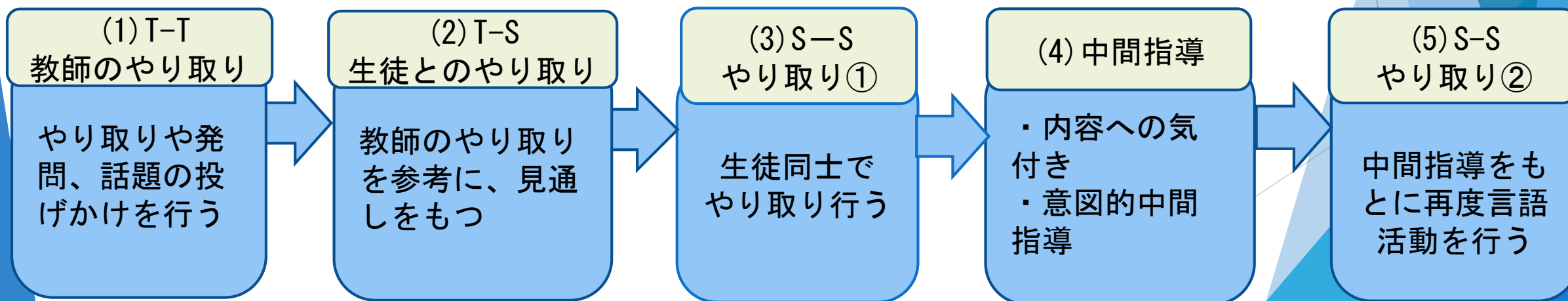
A:Oh, really?
My computer is old.
So I want a new one.

まとまりのある内容

A:I want a new
computer
because mine
is very old.

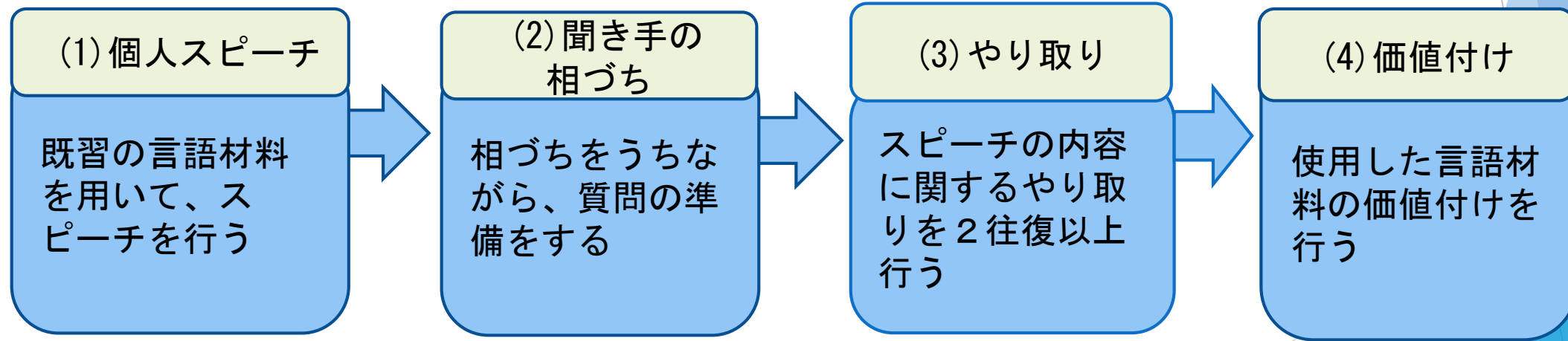
②帯活動の事例<1分間チャット>

- (1)チャットを始める前に、言語材料を示さず、教師とALTのやり取りを見せる(T-T)
- (2)やり取りの例を見せた後、生徒とやり取りを行い、見通しをもたせる(T-S)
- (3)生徒同士でやり取りを行わせる(S-S)
- (4)良い表現を共有したり、言えなかった表現を拾ったりして、中間指導を行う。
- (5)中間指導を生かして、異なるペアでもう一度やり取りを行う。(S-S)



②帯活動の事例<個人スピーチ>

- (1)既習の言語材料を用いて、個人スピーチを行う(テーマは生徒が決定)
- (2)スピーチ中、聞き手は相づちをうつ
- (3)スピーチ後、聞き手は内容に関する質問を行い、2往復以上のやり取りを行う
- (4)教師はスピーチの価値付けを行う(記録に残す評価は行わない)



研究の手だて

- ① アウトプットのための効果的なインプット
- ② 帯活動の充実（PD、チャット、個人スピーチ）
- ③ 適切な目的・場面・状況の中でのタスクの設定
- ④ 中間指導時のパラフレーズとやり取りの価値付け
- ⑤ アウトプットのための場の設定

③適切な目的・場面・状況の中でのタスクの具体

【第1学年】

- ・ 浅川中の様子を校区の小学生とホームページで知らせよう。
- ・ 北九州に住む外国の方に浅川周辺のおすすめの場所を紹介しよう。

【第2学年】

- ・ Danieleに近況を知らせる英語の手紙を書こう。
- ・ 福岡に来るALTの先生に福岡のおすすめの場所を紹介しよう。

【第3学年】

- ・ フェアトレードを普及させるポスターを作り、全校に取組を広めよう。
- ・ タイムマシーンがあったら、いつの時代に行きたいか交流しよう。

研究の手だて

- ①アウトプットのための効果的なインプット
- ②帯活動の充実（PD、チャット、個人スピーチ）
- ③適切な目的・場面・状況の中でのタスクの設定
- ④中間指導時のパラフレーズとやり取りの価値付け
- ⑤アウトプットのための場の設定

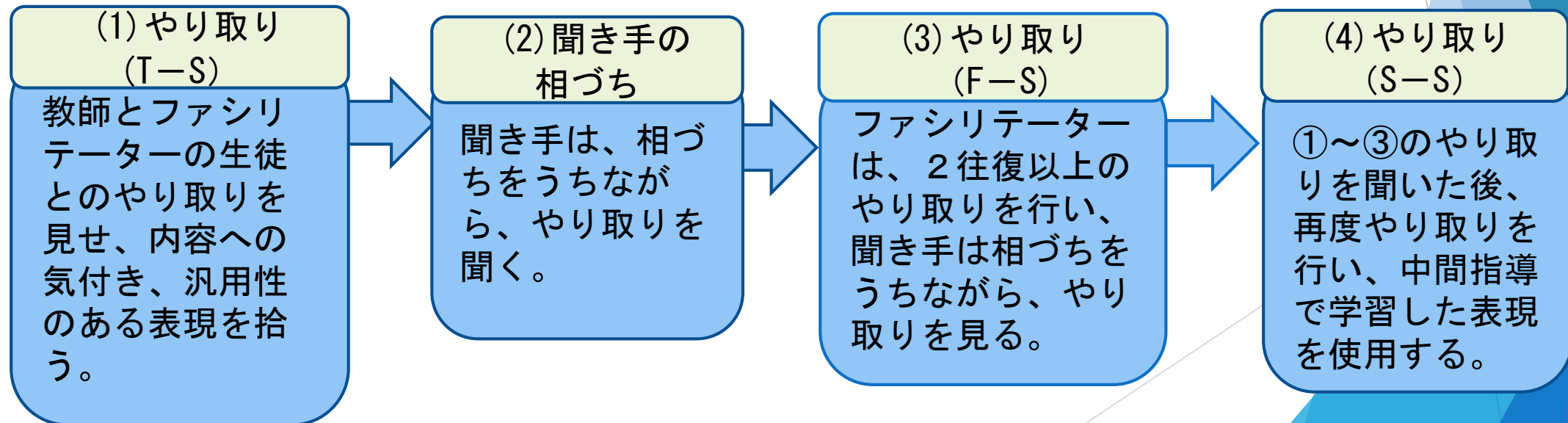
④ やり取りの価値付け<ファシリテーター>

(1) 教師と生徒(ファシリテーター)がやり取りを行う(T-S)

(2) やり取りの間は、聞き手は相づちをうつ

(3) ファシリテーターは生徒を指名し、2往復以上のやり取り(内容の質問など)を行う(F-S)

(4) 教師はやり取りの価値付けを行い、再度生徒同士でやり取りを行う。(S-S)



研究の手だて

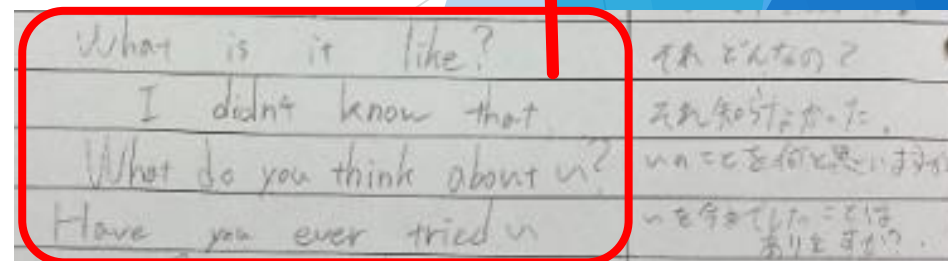
- ①アウトプットのための効果的なインプット
- ②帯活動の充実（PD、チャット、個人スピーチ）
- ③適切な目的・場面・状況の中でのタスクの設定
- ④中間指導時のパラフレーズとやり取りの価値付け
- ⑤アウトプットのための場の設定

⑤ アウトプットのための場の設定

- ・ 語彙を文脈の中で使用させる語彙指導
- ・ 内容の伝え合いのための言語材料の導入
- ・ チャット表現集（マイクラ表現）の活用
- ・ 語順表の活用

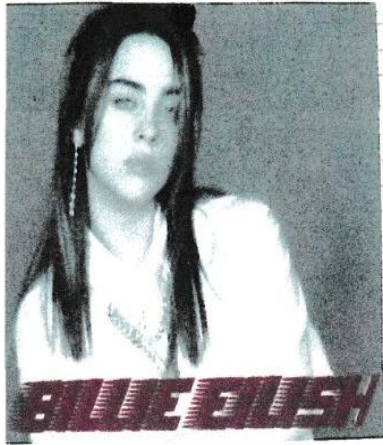


What is it like?
What do you think about
Have you ever tried



⑤アウトプットのための場の設定（家庭学習帳）

Monday, November 23th (How OO! / What a OO!) 34
~人物、キャラクターを紹介 & あいづち~



Aさん = 紹介 Bさん = あいづち

~What favorite person?~

A: I will tell you about my favorite

singer! Do you know her?

B: Yes. **What a beautiful woman!**

A: She is Billie Eilish. She is famous singer.

Do you know her song?

B: Yes. I know "bad guy". **How a cool song!!**

メニュー-B⑦：自分の好き人や物について5文以上で紹介してみよう。

Menu B (発展)

- ① When I was ~, I started / went to ~.などで、ミニ自分年表を書いてみよう。
 - ② If I had a lot of money, I would you buy~.で自分の欲しい物について書いてみよう。
 - ③ If you're interested, please watch / read 等で自分のおすすめについて書いてみよう。
 - ④ 授業の中でやったトピックに I think ~ is(are) better.で自分の意見を書いてみよう。
Which is better, a New Year's Card or a LINE message? / X'mas or New Year's Day?
 - ⑤ "There is(are)"を使って、自分の理想の部屋について書いてみよう。
 - ⑥ What makes you happy?何があなたをうれしい気持ちにさせるか書いてみよう。
 - ⑦ "I like OO the best."で自分の好きの人や物について5文以上で紹介してみよう。
 - ⑧ 自分で疑問に思ったことをラポノートでリサーチしてみよう。
- ※ 3組 橋川さん・松山(史)さん・宮崎さん、4組 鮎川さん・中川さんが挑戦しています♪

A : I will tell you about my favorite singer! Do you know her?

B : Yes. **What a beautiful woman!**

メニューC⑧：オリジナルのメニューを作ってみよう

Menu C (応用)

- ① 個人スピーチ終了者限定！スピーチの英文をラポノートに書いて振り返ってみよう。
 - ② 友だちの個人スピーチの内容を思い出し、1分間チャットのように書いてみよう。
 - ③ 自分が好きな人物の紹介をし、その人に関する質問を考えてみよう。
 - ④ みんなが I think ○○ is better. と答えられるような質問を考えてみよう。
 - ⑤ I like playing games. のように自分の趣味について詳しく書いてみよう。
 - ⑥ 初めて福岡に来る ALT の先生に、おすすめの場所と何ができるか紹介してみよう。
 - ⑦ MenuA①の単語でオリジナル文を作ったり、チャットの対話を作ったりしてみよう。
 - ⑧ 上のメニューにはない、オリジナルのメニューを作ってみよう。(これまでの復習も可)
- ※②は3組橋さんのラポノート、③は8組蠅木さんのラポノートがすばらしい♪

How was it? を文脈の中で使用

A : I watched a movie with my friend.

B : How was it?

A : It was interesting.

今回新しい登場人物のクラスルームインゴザリッソの使いかたについて説明はした。

1. How was it? これは **相手に感想を求めるとき** に使います。

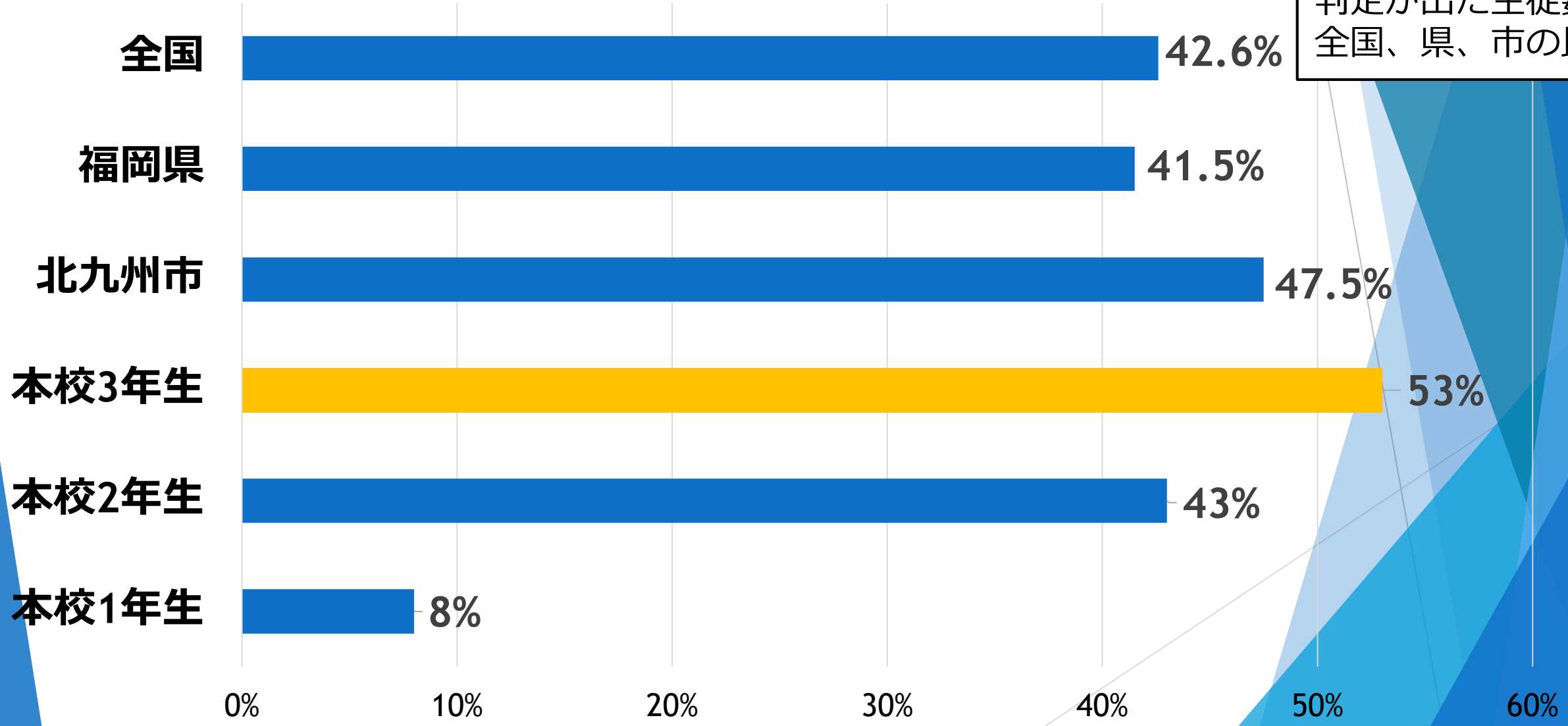
[194]
I watched a movie with my friend. How was it?
It was very interesting. I was interested to it. interesting.

2. I couldn't... これは **仕方がない/できない状況** に使います。

[194]
Give me your workbook, Sorry, Ms. Baker, I had a lot of juku home work. So I couldn't finish it.

3. 研究の成果と課題 <成果①> 英検IBA結果

英検 3 級以上の
判定が出た生徒数の
全国、県、市の比較



<成果②>アンケート結果

【授業全般】

- 先生とALTの会話で、**やり取りの仕方**が分かる
- 会話をする機会が多く、やり取りする力がついた
- この**場面**で学習したこれが使えろと考えるようになった

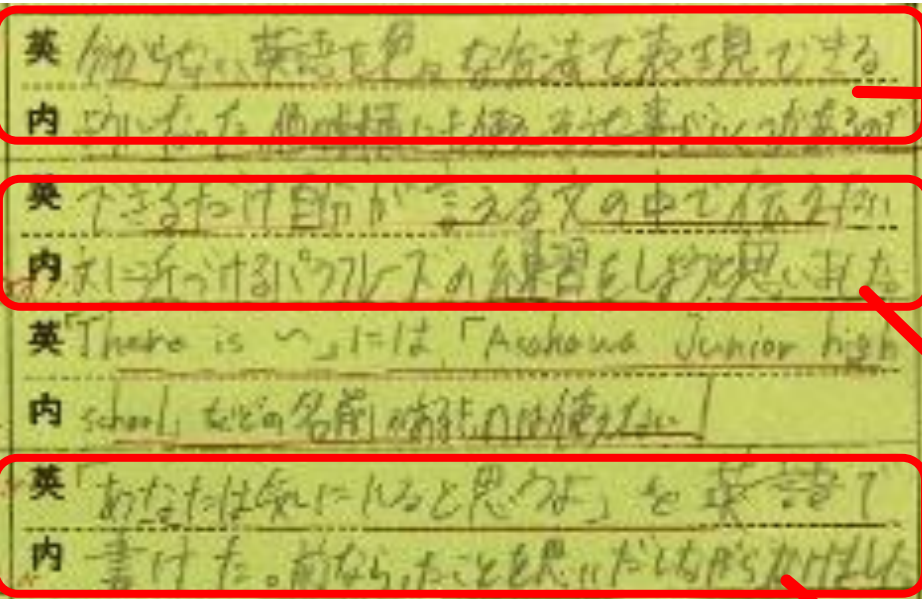
【個人スピーチ】

- 友だちの**話題に関心**をもって、**質問**することができた
- 何度も聞いているうちに、**自然と頭に浮かぶ**ようになった
- 友だちの質問を参考にし、回を重ねる毎に**質問力が上がった**

【チャット】

- ・ **話題が身近**で、難しい話題でも先生のやり取りで分かる
- ・ **習った表現で自分の意見を伝えられる**ようになり、文の組み合わせが頭の中に浮かぶようになった
- ・ 学習したことを **語順表に置き換える**と話せるようになった
- ・ **その単語が言えなくても、パラフレーズして別の言い方で伝えられる**ようになった
- ・ 共有の時間に友だちの意見を聞けるので、参考になる

<成果③> 振り返りシートの記述内容



分からない英語を色々な方法で表現できた。他にも使えそうなことがいくつかありそうです。

自分が言えることの中で伝えたい文に近づくパラフレーズの練習をしようと思います。

前に習ったことを思い出しながら書きました。

伝えたい語彙や表現が言えなくても、既習のものやパラフレーズをすることによって、伝えたい内容が言えるという気付き

4. おわりに

- 第3者への相手意識をもたせた場面と言語活動
- 中間指導の充実とそのための効果的な板書
- 正確性を高めるための指導
- 単元計画と評価の一体化

多様なグローバル社会の中でコミュニケーションを図り、
自分の考えや気持ちなどを即興的に英語で表現できる生徒の育成

～outputにつながる効果的なinputの指導を通して～



ご清聴ありがとうございました。